



株主の皆様へ

第60期 報告書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。

+++ INNOVATION

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

証券コード 7887

[経営理念]

私たち南海プライウッドは、
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、
お客様の求める真の価値を創造し、
ステークホルダーおよび社会との
調和ある安定成長を実現します。

[コーポレートステートメント]

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。
安心・安全・快適。品質第一のものづくりを推進し、
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために
社会に対し3つの誓約を実践します。

行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。
ステークホルダーの安心の暮らしを守るために
CSR/コンプライアンスを経営の中枢においた
態勢を構築します。

2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。
大切なお客様の笑顔を守り、
信頼を築く態勢を構築します。

3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。
自然・社会・人の環境持続を優先した
態勢を構築します。

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第60期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に、その関連需要などから国内景気は緩やかながら回復の動きが見られたものの、欧州債務危機を起因とする円高、海外経済の低迷に加え、日中関係の悪化による輸出の減少、国内政治情勢の不安等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。しかしながら、国内政権交代後の昨年末以降は、円安傾向や株価の回復等の景気回復の兆しも見え始めてきております。

当業界におきましては、住宅エコポイント制度や低金利政策等各種の住宅取得促進政策を背景に、低水準ではありながらも新設住宅着工数が3年連続で増加となり、回復基調にあります。

このような状況のなか、当社グループは、変化する外部環境に対し柔軟に対応できる経営体制のもと、製品の安定供給を続けてまいりました。

木材関連事業におきましては、収納材を中心とする新製品の生産に力を注ぎ、積極的な販売活動を展開しました。また資材供給の安定化を目的とする海外生産体制の見直しや、内製化も含めた国内製造ラインの改造など、生産体制の強化、改善に努めました。

電線関連事業では、得意先である大手サブコンが大型物件を受注、資材の受注実績をあげることができましたが、競争激化等にもとまう採算性の低下などにより、受注利益率は低いものとなりました。

当期の連結業績といたしましては、売上高134億51百万円(前期比8.0%増)、営業利益6億28百万円(前期比38.0%減)、経常利益8億49百万円(前期比9.8%増)、当期純利益は3億93百万円(前期比573.6%増)となりました。

当社グループといたしましては、経営を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応し、経営の効率性、健全性を向上させ、コーポレート・ガバナンスを強化することにより、市場ニーズを先取りする、より顧客満足度の高い建材メーカーを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

+++ INNOVATION NEWS

太陽光発電事業を開始

当社の郷東工場跡地（高松市郷東町796番地65 敷地面積約17,000㎡）において、大規模太陽光発電事業を開始します。

この事業は子会社ナンリツ(株)との間で土地の賃貸借契約を結び、土地を借り受けた同社が主体となって発電施設を施工し、事業運営を行うものであります。

太陽光などの再生可能エネルギーで発電した電力を一定期間、一定価格で電力会社が買い取る、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の活用により、安定的に採算が見込めます。特に、

エネルギーの安定供給、地球温暖化対策といった環境・エネルギー分野での諸問題に直接的に貢献できる有益な事業であると考えています。

敷地全域に太陽光パネル4,070枚を設置し、発電施設の最大出力は約1メガワット。年間発電量は、一般家庭約280世帯分に相当する約110万キロワット時、電力販売額は年間で4千万円程度を見込んでいます。

4月中旬より工事を開始しており、9月末までには竣工、10月より発電事業が開始される予定です。

1968年の創業当時から現在まで40年以上に渡り郷東工場を見守り続けてきた楠木は、屋島の再開発事業用地のシンボルツリーとして「テナンガーデン屋島」に移設され、引き続き当社の未来を見守っていくことになりました。



UniMo

キッチン収納 ユニモ

好評発売中!

キッチンで使用する調理用品や食器類から
家電用品・ダストボックスまで、
すべてのキッチン用品を扉内に収納できます。



機能性をもたせたパネルカラーは3種類。キッチンの印象はパネルカラーで変わります。



フロストグリーン
程よい透け感とグリーンカラーで、
柔らかく内部を隠すタイプ



フロストハーフクリア
どこに何があるかすぐに分かる
半透明タイプ



フロストホワイト
収納内部を隠し、
シンプルに仕上げるタイプ

■ フレームカラー



シルバー
どんなキッチンや
フロアカラーにも
自然になじむ、
落ち着きのある
シルバー色

大型レンジが収納できる



引出し最下段は
2ℓペットボトル収納可能



収納の幅が広がる便利なオプションで
自分スタイルにカスタマイズ



バスケット



昇降ユニット



ダストワゴンセット

深化した美しさを今…

ARTLUMBER Lif

インテリアロングボード アートランバー リフ

好評発売中! 作図依頼件数がUP!

2012年3月

2013年4月

25件

▶ 94件

約3.7倍に!



造り付け収納で地震時にも安心

自由に組合せ可能な収納ユニット満載

長尺でも軽量化を実現

完全フリーカット仕様

人気の理由は、どんなシチュエーションにも調和するシンプルさでした。



ホワイトオバンコール



ナチュラルウォールナット



ベージュオーク



ブラウンウォールナット



ブラックウォールナット

連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
■資産の部		
流動資産	9,370	9,861
現金及び預金	1,278	1,564
受取手形及び売掛金	4,642	4,961
商品及び製品	581	655
仕掛品	845	928
原材料及び貯蔵品	1,685	1,425
繰延税金資産	82	126
デリバティブ債権	73	41
その他	182	159
貸倒引当金	△1	△0
固定資産	8,652	8,581
有形固定資産	5,725	5,653
建物及び構築物	1,154	1,174
機械装置及び運搬具	512	480
工具器具備品	78	58
土地	3,909	3,890
建設仮勘定	43	33
その他	28	14
無形固定資産	543	501
投資その他の資産	2,383	2,426
投資有価証券	621	707
長期貸付金	138	202
投資不動産	1,205	1,116
その他	458	425
貸倒引当金	△41	△31
資産合計	18,023	18,442

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
■負債の部		
流動負債	2,109	2,307
支払手形及び買掛金	1,180	1,088
未払金	445	410
未払費用	100	101
未払法人税等	65	320
未払消費税等	71	132
賞与引当金	211	216
その他	34	37
固定負債	124	140
繰延税金負債	4	2
退職給付引当金	84	104
役員退職慰労引当金	10	10
その他	25	23
負債合計	2,233	2,448
■純資産の部		
株主資本	15,882	16,225
資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	12,025	12,370
自己株式	△129	△130
その他の包括利益累計額	△118	△231
その他有価証券評価差額金	10	29
繰延ヘッジ損益	45	25
為替換算調整勘定	△174	△287
少数株主持分	25	—
純資産合計	15,789	15,994
負債純資産合計	18,023	18,442

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
売上高	12,454	13,451
売上原価	8,003	9,132
売上総利益	4,451	4,318
販売費及び一般管理費	3,437	3,690
営業利益	1,013	628
営業外収益	150	288
営業外費用	390	67
経常利益	773	849
特別利益	20	37
特別損失	663	195
税金等調整前当期純利益	131	692
法人税等	69	295
少数株主損益調整前当期純利益	61	396
少数株主利益	3	3
当期純利益	58	393

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

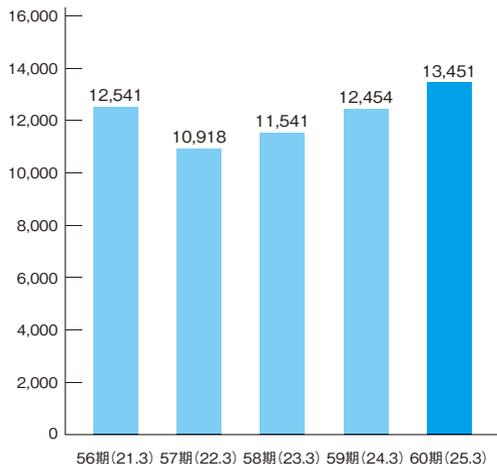
	前連結会計年度	当連結会計年度
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△506	946
投資活動によるキャッシュ・フロー	△798	△631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49	△49
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	22
現金及び現金同等物の増減額	△1,367	287
現金及び現金同等物の期首残高	2,644	1,276
現金及び現金同等物の期末残高	1,276	1,564

■損益ポイント

1. 営業外収益に為替差益132百万円を計上しております。
2. 特別損失に減損損失124百万円を計上しております。

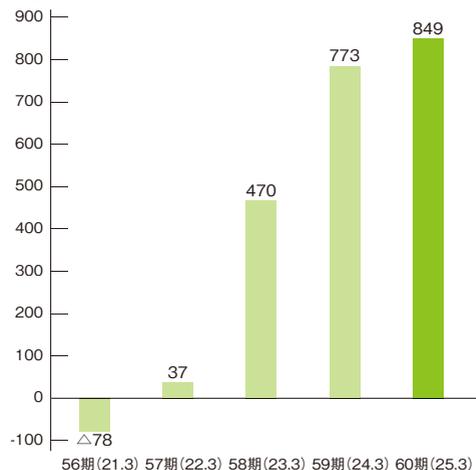
▽売上高の推移

(単位:百万円)



▽経常利益の推移

(単位:百万円)



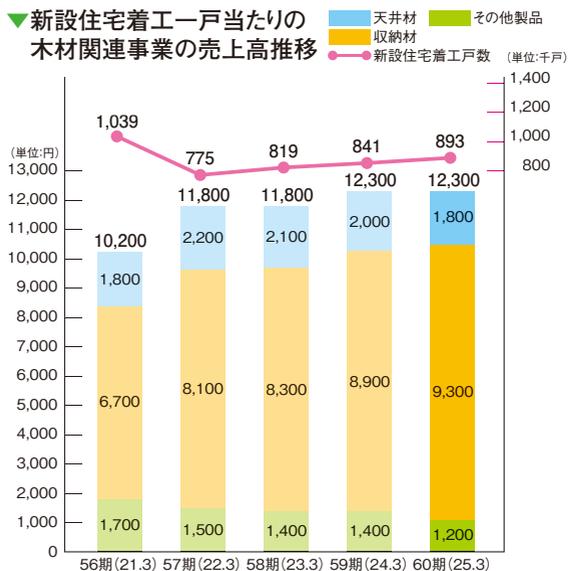
当期の概況

木材関連事業では、収納材を中心とする新製品の生産販売に力を注ぎ、積極的な販売活動を推進しました。コスト面では、資材供給の安定化を目的とする海外生産体制の強化と、国内製造ラインの改造他、徹底した削減、合理化に努めてまいりました。

電線関連事業では、公共投資の増加傾向の中、民間の建設投資も緩やかながら回復基調で推移しましたが、物価の高騰、受注競争の激化等により、利益確保が厳しい経営環境が続きました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高134億51百万円（前連結会計年度比8.0%増）、営業利益6億28百万円（前連結会計年度比38.0%減）、受取賃貸料、為替差益等により、経常利益8億49百万円（前連結会計年度比9.8%増）、当期純利益は3億93百万円（前連結会計年度比573.6%増）となりました。

▼新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



注)売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

次期の見通し

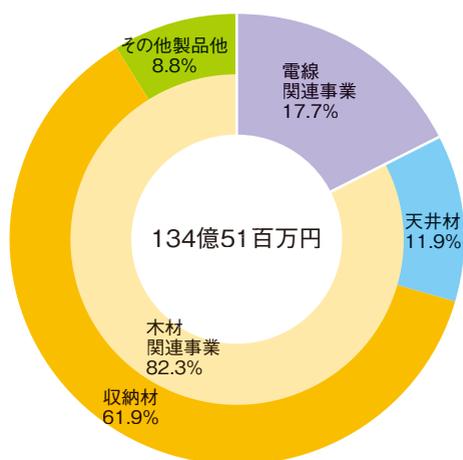
今後のわが国経済情勢は、新政権による経済政策の実施により、デフレ経済からの脱却が期待されるとともに、円安・株高基調による企業収益の改善や個人消費の回復が見込まれ、景気回復の期待感が高まりますが、電力料金値上げ、円安による材料調達コストの高騰が懸念され、景気は先行き不透明な状況が続くものと思われまます。このような状況の下、当社グループにおきましては、営業力の一層の強化と顧客ニーズを捉えた対応力の強化に努めてまいります。

木材関連事業におきましては、消費税増税前の駆け込み需要に加え、住宅ローン減税の延長、拡充などにより、新設住宅着工戸数の回復に期待感を持てます。一方で、急激な円安傾向による材料価格の高騰や、消費税増税後の市場落ち込みなど、依然として不透明な状況は継続すると予想されます。引き続き収納材を中心とする新製品の生産販売に力を注ぐとともに生産体制の充実を図り、収益の確保に努めます。

電線関連事業におきましては、省エネ関連の設備投資が活発化する傾向が見られ、需要増が見込まれるものの、円安により材料価格が高値で推移しており、利益管理を徹底することにより収益の向上を図っていきます。

次期の業績は、連結売上高145億円（前年同期比7.8%増）、営業利益4億3千万円（前年同期比31.6%減）、経常利益5億3千万円（前年同期比37.6%減）、当期純利益は3億2千万円（前年同期比18.6%減）になるものと予想しております。

▼セグメント別の連結売上高構成



株式の状況

(平成25年3月31日現在)

総数

発行可能株式総数 20,000,000株

発行済株式の総数 10,095,800株

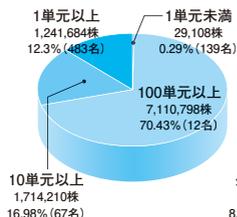
株主数 701名(前期末比62名減)

大株主

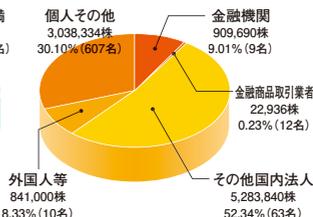
株主名	持株数	持株比率
南海興産株式会社	2,943千株	30.38%
公益財団法人南海育英会	1,554	16.05
株式会社百十四銀行	467	4.83
SIXS LTD.	402	4.15
丸山修	302	3.12
株式会社愛媛銀行	243	2.51
小林茂	242	2.49
CREDIT SUISSE AG ZURICH	158	1.63
南海プライウッド従業員持株会	144	1.49
株式会社百十四ディーカード	128	1.32

(注)当社は自己株式410,853株を所有しております。なお、持株比率は当該自己株式を発行済株式の総数から控除して算出しております。

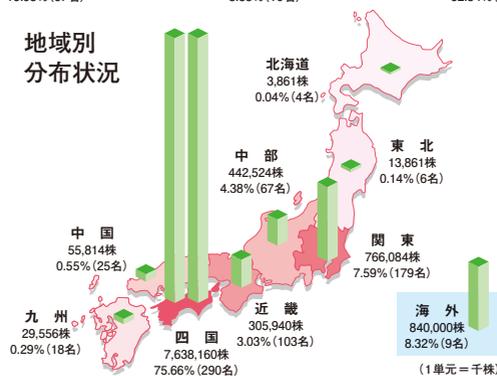
所有株数別分布状況



所有者別分布状況



地域別分布状況



会社概要

(平成25年3月31日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
 電話 087(825)3615 (人事総務グループ)

インターネットホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日
 資本金 21億2100万円
 従業員数 383名(連結1,412名)
 事業内容 建築内装材の製造・販売
 事業所 志度工場
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
 物流センター
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
 朝日新町保税倉庫
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

役員

(平成25年3月31日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	常勤監査役	秋山 二郎
取締役・上席執行役員	小紅 正晴	監査役	大川 俊徳
取締役・上席執行役員	藤村 岳志	監査役	岩部 達雄
取締役・上席執行役員	正箱 孝史	監査役	村田 剛
取締役・上席執行役員	丸山 宏	執行役員	小野 彰三
取締役・上席執行役員	玉置 康洋	執行役員	蓮井 孝治
		執行役員	松浦 義博

連結子会社

(平成25年3月31日現在)

木材関連事業 南海港運株式会社
 PT.NANKAI INDONESIA
 南海建材商貿(上海)有限公司

電線関連事業 ナンリツ株式会社

持分法適用関連会社

(平成25年3月31日現在)

一般管工事業 南海化工株式会社

株主メモ

- 事業年度 / 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 / 毎年6月に開催いたします。
- 基準日 / 定時株主総会の議決権 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 ※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 公告方法 / 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所 / 大阪証券取引所 市場第二部 (証券コード 7887)
 【ご注意】
 大阪証券取引所は、平成25年7月16日をもって東京証券取引所と市場の統合を行う予定のため、同日以降当社の上場証券取引所は東京証券取引所になります。
- 単元株式数 / 1,000株
- 株主名簿管理人 / 特別口座の口座管理機関
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 【郵便物送付先 / 各種お問合せ先】
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 電話 0120-094-777 (通話料無料)
 〔受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕



南海プライウッド株式会社